



平成22年基準
茨城県消費者物価指数
 平成24年四半期(7~9月分平均)

1 概況

(1) 総合指数 は平成22年を100として 3か月平均で99.0	7月 98.8 前期比は0.7%の下落	8月 98.9 前年同期比は0.6%の下落	9月 99.2 前年同期比は0.6%の下落
(2) 生鮮食品を除く総合指数 は 3か月平均で99.2	7月 99.0 前期比は0.4%の下落	8月 99.1 前年同期比は0.5%の下落	9月 99.6 前年同期比は0.5%の下落
(3) 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数 は 3か月平均で97.9	7月 98.0 前期比は0.5%の下落	8月 98.0 前年同期比は0.9%の下落	9月 97.9 前年同期比は0.9%の下落

図1 指数の動き

(平成22年=100)

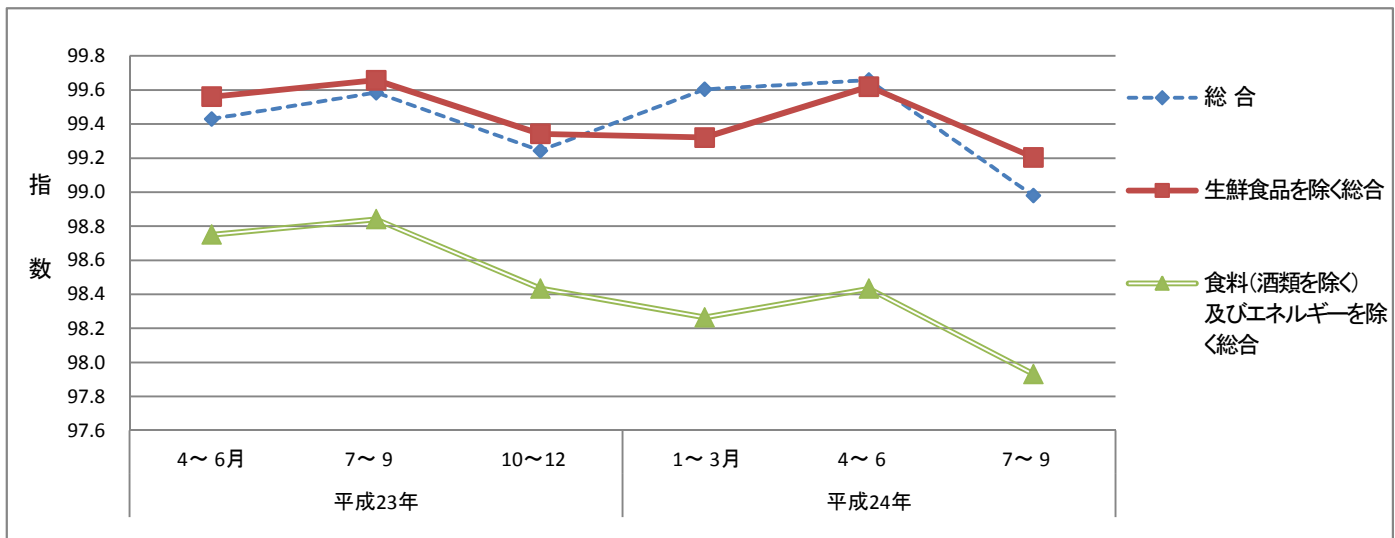


表1 四半期平均指数の動き

(平成22年=100)

年 月	総合	生鮮食品を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	前期比 (%)			前年同期比 (%)		
				総合	生鮮食品を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	総合	生鮮食品を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合
四半期平均	指数								
平成23年 4~6月	99.4	99.6	98.7	-0.1	0.2	-0.3	-0.8	-0.7	-1.5
平成23年 7~9月	99.6	99.7	98.8	0.2	0.1	0.1	-0.2	-0.2	-0.9
平成23年 10~12月	99.2	99.3	98.4	-0.3	-0.3	-0.4	-0.8	-0.6	-1.5
平成24年 1~3月	99.6	99.3	98.3	0.4	0.0	-0.2	0.1	-0.1	-0.8
平成24年 4~6月	99.7	99.6	98.4	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	-0.3
平成24年 7~9月	99.0	99.2	97.9	-0.7	-0.4	-0.5	-0.6	-0.5	-0.9

2 前期・前年同期からの動き

- (1) 今期の総合指数を前期比で見ると、0.7%の下落となった。これを、10大費目指数で見ると、被服及び履物(前期比:▲2.8%),家具・家事用品(同:▲1.8%)などが値下がりし、光熱・水道(同:2.2%)などが値上がりした。
- (2) 今期の総合指数を前年同期比で見ると、0.6%の下落となった。これを、10大費目指数で見ると、教養娯楽(前年同期比:▲3.8%),家具・家事用品(同:▲1.7%)などが値下がりし、光熱・水道(同:5.2%)などが値上がりした。

表2 10大費目指数, 前期比・前年同期比

(平成22年=100)

指数	総合	食料	食料		住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及び 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費
			生鮮 食品	生鮮食品 を除く 食料									
指数	99.0	98.3	93.4	98.9	97.3	110.0	95.2	100.9	98.8	101.2	97.6	93.0	104.2
前期比 (%)	-0.7	-1.3	-7.1	-0.3	-0.3	2.2	-1.8	-2.8	-0.2	-0.9	0.0	-1.2	0.0
前年同期比 (%)	-0.6	-0.8	-4.0	-0.3	-0.8	5.2	-1.7	0.1	-0.2	-0.4	0.1	-3.8	-0.2

[前期比で上昇・下落幅の大きかった項目]

10大費目	中分類	品目
下落		
被服及び履物 シャツ・セーター・下着類 (▲4.0%) 子供Tシャツ(半袖)など
家具・家事用品 家庭用耐久財 (▲4.5%) ルームエアコンなど
上昇		
光熱・水道 電気代 (6.4%) 電気代

[前年同期比で上昇・下落幅の大きかった項目]

10大費目	中分類	品目
下落		
教養娯楽 教養娯楽用耐久財 (▲14.9%) ビデオカメラなど
家具・家事用品 室内装備品 (▲5.2%) 照明器具など
上昇		
光熱・水道 電気代 (10.2%) 電気代
被服及び履物 履物類 (2.2%) サンドルなど
教育 教科書・学習参考教材 (2.6%) 教科書など



ここがポイント

- ・7~9月の茨城県の3か月平均総合指数は99.0となり、前期比で0.7%の下落、前年同期比で0.6%の下落となった。
- ・前年同期比の下落となった理由は、電気代などが値上がりしたものの、教養娯楽用耐久財（ビデオカメラ）、室内装備品（照明器具）などが値下がりしたことによる。
- ・食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は97.9。前年同期との比較では、0.9%の下落となった。